

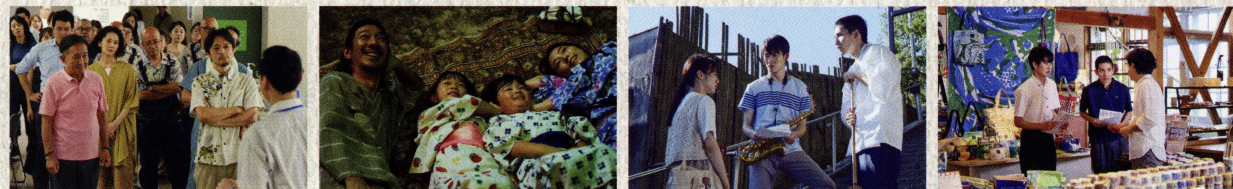


第20回 大阪アジア映画祭 観客賞受賞

頑張って生きるあの人に、笑顔と希望を届けたい
高校生たちの強い願いは、街中の人々を巻き込んで、
やがて大きな希望になっていく――

「約束じゃ。この街に、でっかくて綺麗な花火を上げちゃう」自閉症の青年と、夢をあきらめかけている同級生を励まそうと、とっさに口から出た約束。その言葉が、街に思いがけない波紋を呼び起こす…！
この物語が生まれたきっかけは、2020年から続いたコロナ禍の最中、日本全国の約300もの街で開催された「サプライズ花火」。過酷な環境で働くエッセンシャル

ワーカーへの感謝、楽しみを奪われた子どもたちへのエール、今は会えない人との再会を願う気持ちなど、さまざまな思いをこめた花火が夜空に打ち上げられ、人々に明るい笑顔と希望をもたらした。そして2025年、今を生きるすべての人々に向けた“応援の花火”が、爽やかなひと夏の青春物語とともにスクリーンに打ち上がる！



市井に生きる人々を温かく見つめる
ヒューマンドラマの名手・平松恵美子監督×豪華キャスト
×主題歌・手嶌葵の競演！



監督と脚本は、山田洋次監督のもとで長年にわたり助監督と共同脚本を務め、『ひまわりと子犬の7日間』『あの日のオルガン』の監督として高い評価を得る平松恵美子。主人公の蒼と紅子には、若手最注目山時聡真(『君たちはどう生きるか』)と中島瑠菜(『九十歳。何が

めでたい』)。若者たちをサポートする美術館の学芸員・古城を、本作で映画初出演を飾るプロフィギュアスケーターの高橋大輔が演じるほか、堀家一希、前野朋哉、MEGUMIら倉敷・岡山出身者が本作のために集合し、林家正蔵、橋爪功らベテランが人情味あふれる演技で魅了する。そして主題歌を担当するのはスタジオジブリ映画『ゲド戦記』『コクリコ坂から』で知られる手嶌葵。たくさん泣いて、笑って、温かい気持ちに包まれる、希望の物語が誕生した。

